

II 市町事業

令和元年度 学校・家庭・地域連携推進事業 実施市町一覧(松山市を除く)

市町名		教育支援活動		地域学校協働活動		えひめ未来塾		放課後子ども教室		土曜教育活動		家庭教育支援	
		実施	箇所数	実施	箇所数	実施	箇所数	実施	箇所数	実施	箇所数	実施	チーム数
1	四国中央市	○	13	○	1	○	4			○	1		
2	新居浜市	○	15	○	15	○	15	○	1				
3	西条市	○	35	○	15	○	23	○	6	○			
4	今治市					○	2			○			
5	上島町							○	1	○			
6	東温市					○	1	○	2				
7	伊予市					○	1			○	1		
8	松前町					○	3						
9	砥部町					○	3			○	1		
10	久万高原町	○	3			○	1			○	1		
11	大洲市	○	2			○	6			○	1		
12	内子町	○	1			○	3						
13	伊方町	○	2										
14	西予市			○	5	○	6	○	1	○	1		
15	宇和島市	○	18	○	29	○	13			○	1		
16	鬼北町	○	7			○	3						
17	愛南町					○	4	○	1	○	1		
合 計		9	96	5	65	15	88	6	12	11	8		

各市町の教育支援活動における人数や日数等の数値は、令和2年3月末までの見込みです。

地域学校協働活動



幼小中・地域合同運動会

(河辺小・中学校地域学校協働活動本部【大洲市】)

①【四国中央市】	新宮小・中学校地域学校協働本部	16
②【新居浜市】	金子校区地域学校協働本部	17
③【西条市】	西条市地域学校協働本部	18
④【久万高原町】	父二峰小学校地域学校協働本部	19
⑤【大洲市】	河辺小・中学校地域学校協働活動本部	20
⑥【内子町】	小田地域学校協働本部	21
⑦【伊方町】	三崎小学校地域学校協働本部	22
⑧【宇和島市】	三間中学校区地域学校協働本部	23
⑨【鬼北町】	好藤小学校地域学校協働本部	24

新宮小・中学校地域学校協働本部【四国中央市】

～ 地域の教育資源・教育力を生かした小中一貫教育の推進 ～

◆活動の目的・理念

- 様々な人との出会いを通じて、児童生徒の健全育成を推進する。
- 新宮での様々な体験を通して互いにつながり合い、新宮を愛する児童生徒の育成に努める。

	配置	属性	活動内容						
地域コーディネーター	1 名	教頭	・学校・地域・公民館の年間行事との調整及び支援活動の計画 ・学校支援ボランティアへの連絡と調整						
教育活動推進員のべ人数	30 人	学校評議員、新宮公民館、地域活動支援センター「茶れんじ」、婦人会、老人会、PTA役員							
協力活動の内容	授業等の補助	学びによるまちづくり	地域課題解決	地域人材育成	郷土学習	部活動補助	見守り活動	その他	
のべ日数 29 日	18 日	5 日	3 日	日	1 日	日	2 日	日	
ボランティアのべ人数 437 人	68 人	250 人	90 人	人	9 人	人	20 人	人	
連携・協力団体・機関	学校評議員、新宮公民館、市社会福祉協議会新宮支所「茶れんじ」、新宮地区ふるさとづくり推進協議会、新宮婦人会、新成婦人会、寺内婦人会、老人会、新宮地域青少年健全育成会議、宇摩森林組合、独立行政法人水資源機構、読み聞かせボランティア、PTA役員								

取組の概要

<主な取組内容>

● ふるさと新宮を大切にする地域貢献活動

- ・ 中学部の総合的な学習の時間において、「一日へそのもの」と称する取組を行っている。公民館や道の駅「霧の森」を清掃したり、デイサービスで交流活動を行ったり、学有林のヒノキを利用したヒノキスプレーを作って「霧の森」の来客者に配付したりした。



(一日へそのもの)

ヒノキスプレーを受け取ってくださった方から後日いただいた手紙より

- ・ 素敵なプレゼントをありがとうございました。・・・70年も前から学有林に植えたヒノキを使っののスプレーとブロック、いい香りですね。(丹原町在住)



(林業教室)

● 地域に支えられた様々な体験活動

- ・ 緑の少年団活動の一環として、林業教室を行っている。宇摩森林組合等や県と市の行政関係者の方々に協力をいただき、約70年前から保有してきた学有林に込められた、新宮地域の方々の思いを継承している。
- ・ 新宮ダムに近いこともあり、独立行政法人水資源機構の協力を得て1990年より水生生物調査を実施している。また、公民館主催で、1977年より探鳥会を実施している。



(ふれあいフェスティバル)

● 伝統文化の継承活動

- ・ 地域のお年寄りから昔の遊びや伝統的なお菓子づくりを教わり、伝承していくことをねらいとして、「ふれあいフェスティバル」を行っている。9名の方が講師になってくださり、小学部児童と保護者に「竹細工」「編み物」「蒸しパン」「小物作り」を教えてくださいました。

<特色ある取組>

● 茶摘み

保護者が保有している茶畑を借り受け、毎年、茶摘み体験をしている。お茶は、新宮を代表する特産品であり、茶摘みや除草作業を経験することで、お茶の生産に携わる方々の思いを理解することにつながっている。除草作業も保護者の方々や中学生のボランティアで年間数回行っている。毎日、給食の時間に製茶したお茶を飲んでいる。



(茶摘み)

事業を実施して

【成果】

- 様々な活動を通して、保護者や地域の方々との絆が深まり、新宮を大切に思う気持ちが育ってきている。
- 小規模特認校制度によって新宮地域外から通学している児童生徒やその保護者も、様々な活動に参加し、互いに触れ合うことで、つながり合えるようになってきている。

【課題】

- 小規模特認校制度によって、新宮地域外から通う児童生徒と保護者がいるので、新宮という地域を早く理解してもらえるような手立てが必要である。より多くの方が参加しやすいような活動を今後も取り入れていきたい。

金子校区地域学校協働本部【新居浜市】

～地域ので子どもを守り育てよう～

◆活動の目的・理念

- 見守りを通じて、地域の人々と子どもたちとのふれあいを深める。
- 伝統文化の継承で故郷の素晴らしさを知ってもらい、次世代に引き継いでいく。
- 安心安全な地域づくり及び青少年の健全育成を推進する。

地域コーディネーター	配置		属性		活動内容									
	1	名	公民館主事		・学校・地域・公民館の年間行事との調整及び支援活動の計画 ・学校支援ボランティアへの連絡と調整 ・広報・啓発活動(公民館報・学校だより・人材発掘)									
協働活動支援員のべ人数	74	人	金子校区連合自治会・金子校区見守り隊・金子校区連合老人会・交流戦隊KANEKO・地域交流センター											
協力活動の内容	授業等の補助	学びによるまちづくり	地域課題解決	地域人材育成	郷土学習	部活動補助	見守り活動	その他						
のべ日数	216	日	1	日	日	日	1	日	12	日	202	日		日
ボランティアのべ人数	2,265	人	10	人			人	15	人	12	人	2,228	人	
連携・協力団体・機関	金子校区連合自治会・金子校区見守り隊・金子校区連合老人会・交流戦隊KANEKO・地域交流センター													

取組の概要

<主な取組内容>

- **地域全体で取り組む見守り活動**
 - ・地域全体で小学生児童の登下校の見守りを実施。毎年8月に見守りの会を開き、地域の危険区域や見守りすをる人たちが意見交換を行い、安心・安全な地域になるよう努めている。
- **伝統文化講座**
 - ・地域の老人会の方々が小学校に行き、1年生を対象に昔遊びを実施
 - ・郷土芸能「小女郎たぬき音頭」の伝承
- **地域と一緒に軽スポーツ**
 - ・地域の方と一緒に5年生を対象にフリスビーやカローリングを実施



(見守りの会 意見交換会の様子)



(昔遊びの様子)

児童の感想

- ・見守りの人が、挨拶をしてくれたり、帰りに声をかけてくれるのがうれしいです。
- ・お手玉やこまを回すのは、すごく難しかったです。
- ・カローリングは学校にないので、初めてだったけど面白かったです。

<特色ある取組>

● 夏休みと冬休みの夜間見守り活動

金子校区では、平成29年度から児童・生徒の安全確保と青少年の非行を未然に防ぐため、開放的になりやすい長期休暇中(夏休み・冬休み等)に週に1度、夜間パトロールを実施している。主体は、「地域をよくしていこう!」と3年前に結成した交流戦隊KANEKOの方々。また、地域の夏まつり等のイベントでも活躍してくれた。



(夜間パトロールの様子)



(夏まつりでのパトロールの様子)

事業を実施して

【成果】

- 地域と学校(教職員)との交流で信頼関係が深まり、学校側からも地域に対する協力してほしい要望が出てきた。
- 子どもたちと触れ合うことで、地域の方も生きがいを感じている。

【課題】

- 学校側のニーズに合わせた支援活動の充実。
- 後継者不足が課題である。

西条市地域学校協働本部【西条市】

～にほんご指導教育の推進～

◆活動の目的・理念

- 文部科学省「学校を核とした地域力強化プラン」の方針に基づき、学校、家庭及び地域住民相互の連携・協働を推進するため、地域住民等の参画を図ることにより、学校を様々な角度からサポートする事業を展開する。
- 外国籍及び帰国子女等で日本語の指導が必要な児童に対し支援を行うことで、早く学校生活になじみ自らが主体的な学校生活を送るために必要な支援を行う。

地域コーディネーター	配置	属性		活動内容					
	1名	市職員		・支援員の業務管理・謝礼金支出					
教育活動推進員のべ人数	1,043人	にほんご指導教室支援員							
協力活動の内容	授業等の補助	学びによるまちづくり	地域課題解決	地域人材育成	郷土学習	部活動補助	見守り活動	その他	
のべ日数	260日	260日	日	日	日	日	日	日	日
ボランティアのべ人数	人	人	人	人	人	人	人	人	人
連携・協力団体・機関	西条市立西条小学校								

取組の概要

<主な取組内容と様子>

西条市立西条小学校に「にほんご指導教室」を設置

● にほんご指導教室とは

- ・外国籍や帰国子女などで日本語の指導が必要な児童に対して日本の文化や学校生活に早くなじんでもらい、主体的に学校生活を送ってもらえるよう、必要な教育と支援を行っている。

● 運営体制

- ・担当教諭1名、支援員4名、通訳1名（懇談会時）で、運営している。支援員は、西条小学校区内に居住する女性で、1日あたり4時間程度、支援業務に当たっている。



にほんご指導教室の様子

支援員の感想

- ・日本での生活が初めてで、日本語の読み書き等ができなかった子どもたちが、にほんご指導教室での指導や原級での支援によって、2～3年で支援なく原級で授業を受けられるようになってくれることが、何よりうれしく思っています。
- ・子どもたちが、にほんご指導教室を心配や不安を和らげられる場所としてくれているのを感じています。
- ・外国人が就労する環境が市内に多くあるため、突然の転入、転出も多く、日本語の習得レベルに差があり、指導計画が大変です。



にほんご指導教室での個別指導



原級での授業の様子

児童の感想

- ・僕は、4年生の2学期から日本に来ました。初め日本語は全然分からず、一番大変だったことは、友達と関わることです。友達の言うことが分からないときなどは、教室の先生が助けてくれました。読める日本語がだんだん増えていきました。6年生の2学期から原級だけで勉強をしています。今では、放課後にだけ教室に行き、作文や日本語の勉強をがんばっています。自分の感じたことが伝わるように書くことができるようにしたいです。
- ・僕は2年生の2学期に西条小学校へ来ました。来た時は、何もわからなくてこわいと思っていましたが、にほんご指導教室の先生がわかりやすく教えてくれたので、少しずつこわくなくなりました。今は、自分でできることが増えたのでうれしいです。

事業を実施して

【成果】

- 来日当初、日本語を全く理解できず、ただ座っているだけだった子どもたちが、次第に日本語を理解できるようになり、日本人の子どもたちとのコミュニケーションもとれ、中学校へ進学できるようになった。

【課題】

- 設置校が西条地区の西条小学校1校のみであるため、校区外から通学せざるを得ない。

父二峰小学校地域学校協働本部【久万高原町】

～地域のチカラで子どもを育てる～

◆活動の目的・理念

- 少子高齢化による児童数の減少の中で、地域の教育力を最大限に生かし、地域の人々とのふれあいを通して、「ふるさとを愛し、自信と誇りをもってたくましく生きる子ども」を育成する。
- 学校を核とするふるさとづくり、地域コミュニティの拠点となる「地域とともにある学校」づくりに努める。

	配置	属性	活動内容						
地域コーディネーター	2 名	PTA役員	<ul style="list-style-type: none"> ・学校と地域及びボランティアとの連絡調整を図る。 ・環境整備・地域支援活動等への参加を呼びかける。 						
教育活動推進員のべ人数	130 人	ふじみね学校支援連絡協議会(見守り隊・公民館・壮年会・婦人会・老松会・明生会・教育後援会・民生委員、PTA)							
協力活動の内容	授業等の補助	学びによるまちづくり	地域課題解決	地域人材育成	郷土学習	部活動補助	見守り活動	その他	
のべ日数 205 日	13 日	日	日	日	4 日	日	178 日	10 日	
ボランティアのべ人数 1,130 人	144 人	人	人	人	175 人	人	356 人	455 人	
連携・協力団体・機関	ふじみね学校支援連絡協議会、久万高原町教育委員会、久万高原警察署・交通安全協会・父二峰駐在所、久万高原消防本部・消防署								

取組の概要

<主な取組内容>

- **ふるさとを愛する子どもを育む郷土学習**
 - ・ ふじみね学校支援連絡協議会のご協力により、地域に伝わる伝統行事や地域の特色を生かした郷土学習を行っている。【田植え（5月）、稲刈り（9月）、しめ縄、門松作り（12月）、どんど焼き（1月）、鬼の金剛、植菌体験教室（2月）】
 - ・ 子どもたちは、地域の方々から伝統行事を教わったり、地域の特色ある体験をしたりすることを通して、地域の方々との関わりを深めると共に、ふるさとを愛する心情が育ってきている。
- **心を豊かにする環境整備**
 - ・ 地域全体に呼びかけ、PTAを主体として年2回除草作業を実施している。子どもたちも作業に参加し、保護者や地域の方と一緒に学校美化に汗を流している。また、地域の高齢者ボランティア「愛樹会」の方々による松・藤・桜などの樹木の剪定を行っていただいている。
- **地域全体で取り組む見守り活動**
 - ・ ボランティアの見守り隊の方々による登校の見守りが10年以上にわたって続けられている。さらに、地域の駐在所員さんにも児童の登校を毎日見守っていただき、児童の安全に配慮していただいている。



(田植えの様子)



(奉仕作業の様子)



(登校見守りの様子)

<特色ある取組>

- **小学校・幼稚園と公民館が共同開催する地域を挙げての運動会**
小学校・幼稚園、ふじみね学校支援連絡協議会、そして校区の三公民館(父野川・二名・露峰)共催の「ふじみね大運動会」を開催し、今年度で第10回を数える。公民館種目や、中学生種目等もあり、地域を挙げての運動会となっている。運動会の最後には、参加者全員で「久万山音頭」を踊ったり、餅まきを行ったりするなど、みんなが楽しめるイベントである。今年は約300名もの来校者を迎え盛大に行われた。



(運動会後の餅まきの様子)

事業を実施して

【成果】

- 学校・家庭・地域が一体となった活動は、子どもの成長の大きな源となっている。
- 「地域の子どもは地域で守り育てる」の共通理解のもと、学校と地域が互いに潤う活動になっている。

【課題】

- 児童数の減少・地域住民の高齢化に伴い、長期的な視点で、行事の大胆な見直しや、無理なく長く続けられる活動への転換が必要である。

河辺小・中学校地域学校協働活動本部【大洲市】

～河辺を愛する子どもたちを、地域で育てよう～

◆活動の目的・理念

- 「ふるさと学習」を軸とし、系統性を重視した河辺の小中一貫教育を支援していく。
- 学校活動に地域住民等が参画することで、子どもたちの多様な体験の機会を増やし、学校教育の充実を図る。
- 地域住民自らの知識や経験を活かす場を広げ、地域の教育力の向上を図る。

	配置	属性	活動内容						
地域コーディネーター	1名	元小学校校務員	<ul style="list-style-type: none"> ・学校・地域・公民館の年間行事との調整及び支援活動の計画 ・学校支援ボランティアへの連絡と調整 ・広報・啓発活動(「のぶすま通信」の発行) 						
教育活動推進員のべ人数	50人	公民館長(各分館長)、各自治会長、社会福祉協議会、老人会長、民生児童委員、主任児童委員、河辺児童生徒をまもり育てる協議会、河童会、河辺の未来を考える会 等							
協力活動の内容	授業等の補助	学びによるまちづくり	地域課題解決	地域人材育成	郷土学習	部活動補助	見守り活動	その他	
のべ日数	68日	5日	3日	5日		15日	5日	30日	5日
ボランティアのべ人数	140人	10人	10人	10人		40人	10人	50人	10人
連携・協力団体・機関	河辺公民館、河辺地区社会福祉協議会、河辺4地区自治会、河辺の未来を考える会、河童会、老人会河辺支部、民生児童委員、主任児童委員、河辺児童生徒をまもり育てる協議会 等								

取組の概要

<主な取組内容>

- 豊かな人材を活用した教育活動
 - ・卓球経験者による、男女卓球部への部活動支援
 - ・老人会の指導による「昔の遊び体験」「ゲートボール体験」
 - ・地域のボランティア団体による読み聞かせ活動
- ふるさとを愛する子どもを育てる「ふるさと学習」
 - ・児童生徒の発達段階に応じた「ふるさと学習(郷土の歴史や文化、自然、産業)」への支援(小学生・・・まち探検、米作り・芋ほり、河辺の名人、河辺の自然 等)
 - (中学生・・・河辺の森林と産業、老人会との交流、福祉施設体験 等)
 - ・河辺花いっぱい運動
- 地域と学校との連携
 - ・河辺幼小中と地域で行う合同運動会の実施



(中学校林業体験)



(幼小中・地域合同運動会)

児童・生徒の感想(幼小中・地域合同運動会)

- ・一番心に残ったのは、幼小中一緒に踊ったダンスと小中全員でバトンをつないだ紅白リレーです。周りのみなさんから「上手だった」と言われてうれしかったです。

<特色ある取組>

● 米づくり

幼稚園と小学校では、地域住民の方の御厚意で、田んぼをお借りして米作りを行っている。6月に田植え、10月に稲刈りをして稲木にかけて干し、脱穀、精米したもち米で、12月にもちつきをする計画になっている。田植えや稲刈りの際には、田んぼの持ち主とその知り合いの方、もちつきの際には、地域の食生活改善グループや老人会、河童会の協力を得て実施している。地域の協力なしにはできない活動であり、学校に対する支援のありがたさを強く感じる活動である。



(米作り(田植え・稲刈り))

事業を実施して

【成果】

- 少子化で、教職員数も削減される中、地域住民が学校の教育活動に協力することで、学校教育の充実が図られている。
- 地域住民が参画することで、学校や子どもたちへの理解が深まっている。

【課題】

- 少子高齢化が進む中、地域の協力を得ても内容を変更したり、廃止したりしなければならない教育活動が増えつつある。
- 学校が希望する支援と地域が協力できる支援とのミスマッチがないよう、配慮が必要である。

小田地域学校協働本部【内子町】

～地域ぐるみで小田の子どもを育てよう～

◆活動の目的・理念

- 学校・家庭・地域が連携し、「地域とともにある学校」づくりを推進する。
- ふるさと学習を中心として、小中一貫教育を推進し、郷土愛を深める。
- 地域人材の活用を図り、子どもたちの夢を応援する。

地域コーディネーター	配置		属性		活動内容				
	1名	元郵便局長	<ul style="list-style-type: none"> ・学校・地域・公民館の年間行事との調整 ・学校支援ボランティアへの連絡と調整 ・広報・啓発活動(学校だより、公民館報等) 						
教育活動推進員のべ人数	124人	農家の方、小田自治センター職員、自治会、老人会、婦人部等							
協力活動の内容	授業等の補助	学びによるまちづくり	地域課題解決	地域人材育成	郷土学習	部活動補助	見守り活動	その他	
のべ日数 35日	7日	日	9日	2日	17日	日	日	日	
ボランティアのべ人数 124人	19人	人	40人	9人	56人	人	人	人	
連携・協力団体・機関	内子町森林組合、特別養護老人ホーム緑風荘、燈籠まつり実行委員会、自治センター、自治会、婦人部、小田の里巨樹巨木を想う会								

取組の概要

<主な取組内容>

- **ふるさとを愛する子どもを育む郷土学習**
 - ・地域の文化や産業の継承、地域に根差した食材を利用した体験学習を通して、ふるさと小田を愛する心をもった児童生徒の育成に取り組んでいる。
- 〈中学校〉
 - ・地域の方の協力による体験学習を実施することで、自分たちが住んでいる地域の良さを再発見することができる。
 - ・地域文化の継承（絵燈籠づくり）
 - ・産業の継承（林業体験、農業体験、福祉体験）
 - ・ふるさと学習（しいたけ栽培、しいたけ料理教室）
- 〈小学校〉
 - ・ゲストティーチャーを招き、地域の先人の偉業や戦争体験について学習している。また、資料を基に劇の脚本を作成し、保護者や地域の方々はその成果を発表した。



(しいたけ菌床づくり)



(しいたけ収穫)



(絵燈籠づくり)



(農業体験)

参観者の感想

・授業で学習した内容が創作劇になっており、大変驚きました。一からの脚本づくりで大変だったと思います。子どもたち、そして見て来られていたたくさんの方々感動していました。素晴らしい作品でした。



(先人に学ぶ)



(劇の一場面)

<特色ある取組>

- **おだのふれあい講演会**
小田を支えていく子どもたちに地域の立場から提言し、将来に生かしてほしいという願いから、郷土出身者を講師に迎えた講演会を行っている。講師が自らの学生時代や歩んできた道程を語り、子どもたちはその生き方から学び感じ取ったことを、自分の夢の実現に向けた原動力としている。また、子どもと地域住民とのふれあいの場ともなっている。



(郷土出身者による講演会)

事業を実施して

【成果】

- 自然・歴史・文化・産業など多様な分野での地域理解が深まり、児童生徒の郷土に対する愛着を育むことができた。
- 児童生徒と地域住民との世代間交流の場として高齢者の方々から暖かい支援を受けた。地域全体で子どもを育てていく意識が高まった。

【課題】

- 保護者をはじめ、多くの地域の方々に活動を知ってもらい、新たなボランティア人材の確保につなげること。
- 支援内容や方針等について関係者で十分合意するとともに、今後も活動を通じて地域のつながりをさらに強化すること。

三崎小学校地域学校協働本部【伊方町】

～地域ぐるみで三崎の子どもを育てよう～

◆活動の目的・理念

- 学校・家庭・地域が手を取り合って、地域の宝である子どもたちを育てていく。
- 地域人材の活用を通して学校を支援するとともに地域の活性化を図る。

地域コーディネーター	配置		属性		活動内容				
	1	名	元教員		・学校支援ボランティアの派遣(人材確保及び連絡調整) ・広報・啓発活動 ・学校支援ボランティアの募集				
協働活動推進員のべ人数	人								
協力活動の内容	授業等の補助	学びによるまちづくり	地域課題解決	地域人材育成	郷土学習	部活動補助	見守り活動	その他	
のべ日数 62 日	4 日	日	日	日	1 日	日	21 日	36 日	
ボランティアのべ人数 193 人	19 人	人	人	人	4 人	人	48 人	122 人	
連携・協力団体・機関	三崎公民館、伊方町社会福祉協議会、伊方町老人クラブ連合会、町立図書館								

取組の概要

<主な取組内容>

- **学習支援への取組**
 - ・生活科や、総合的な学習の時間の体験活動支援、読み聞かせなどを実施。
- **登下校の安全確保**
 - ・子どもたちの登校時間に合わせて通学路に立ち、安全確保と声かけ運動を実施。
- **校内環境整備への協力**
 - ・樹木の消毒・剪定、運動場の草引きなどの実施。



(読み聞かせ)

児童の感想

- ・ボランティアのみなさんの読み聞かせを楽しみにしています。自分でもたくさん本を読むようになりました。
- ・ボランティアの方と話をしながら楽しい芋植えや芋掘りができました。
- ・いつも運動場や学校の周りの草引きをしてもらい嬉しいです。わたしたちもできるとき一緒にしようと思います。



(学校周辺の環境整備)



(生活科さつまいも栽培)

<特色ある取組>

● 合同防災訓練

地震、津波を想定した、保育所・小学校・中学校合同の避難訓練に、地元消防団、三崎支所防災担当者、消防署第一分署、地域の方等に協力していただき、緊張感のある充実した訓練が実施できた。小学生は高学年の児童が低学年の児童の手を引き、中学生は保育所の園児の手を引き、先生や消防団員等の適切な誘導支援の中、高台へ避難する訓練を行った。訓練の後には、それぞれの立場から感想や改善点等を出し合い、連携・協力の大切さを確認した。



(合同防災訓練)

事業を実施して

【成果】

- 地域の方々の力が、学校支援ボランティア活動を通して、学校教育活動の充実に役立っている。
- 学校を支援する活動を通して、ボランティアも学校や子どもたちとのつながりに喜びを感じ、活動への積極的な協力が増えた。

【課題】

- 学校と地域の連携・協働体制づくりの充実を図る。
- 幅広い層の学校支援ボランティアを確保するためのネットワークづくりに努める。
- 地域コーディネーターの後継者育成が必要である。

三間中学校区地域学校協働本部【宇和島市】

～「学校を核とした地域づくり」を目指して～

◆活動の目的・理念

- 学校・家庭・地域が一体となって、「地域の子どもは地域みんなで育てる」という共通意識を持ち、学校を地域コミュニティの核と位置づけ、地域ぐるみで子どもたちを育てる体制を整える。
- 学校と地域ボランティアの橋渡しを行い、教職員の負担軽減を図るとともに、地域人材を活用した学習支援を行う。

地域コーディネーター	配置		属性		活動内容				
	2名	名	ボランティア	経験者	・学校支援ボランティアに関する学校とボランティアとの連絡調整 ・ボランティア活動に係る報告書の作成及び行政担当者との連絡調整 ・広報・啓発活動及び新規ボランティアの発掘				
協働活動支援員のべ人数	人								
協力活動の内容	授業等の補助	学びによるまちづくり	地域課題解決	地域人材育成	郷土学習	部活動補助	見守り活動	その他	
のべ日数 175日	50日	日	日	日	日	8日	日	117日	
ボランティアのべ人数 382人	75人	人	人	人	人	10人	人	297人	
連携・協力団体・機関	公民館、幼稚園、小中学校、小中学校PTA、老人クラブ、自治会								

取組の概要

<主な取組内容>

● 学習支援

- ・地域のボランティアによる、学校教育活動への支援を実施している。

● 環境整備活動

- ・清掃活動等の環境整備は、少ない教職員では対応が困難なため、定期的にボランティアにお願いして、作業を行っている。



(清掃活動の様子)

<特色ある取組>

● コーディネーター定例会の実施

当該校区内にある小学校コーディネーターと月1回の定例会を開催し情報共有を図り、今後必要な支援内容の確認を行っている。

● 校区内にある学校の定期清掃

校区内にある学校4校(小学校3校、中学校1校)の定期清掃活動を実施している。

毎月13日は「学校環境美化ボランティアの日」に定め、偶数月は中学校、奇数月は各小学校の構内清掃活動を行っている。

実施にあたっては、回覧及び校区内行政無線による参加者の募集を行っている。

8月は「夏休み親子奉仕活動」を行い、地域住民、教職員で清掃活動を行っている。

三間地区の皆さんへ

学校支援ボランティアのご案内

平成20年度より開始した三間中学校区地域学校協働活動事業、地域の皆様のご協力により、今年で12年目を迎えています。

この事業は、学校を支えるため、学校が依頼とする活動について、地域の力をボランティアとして活用する取組で、いっしょに育つ地域の核づくりです。この取組は、学校・家庭・地域が一体となって地域ぐるみで子どもたちを育てる体制を整えることを目的としています。

事業開始以来、地域の皆様の協力で様々な学校支援活動がボランティアで行われ、平成30年度には延べ500人の方がこの活動に参加いたしました。

事業開始当初より学校環境ボランティアとして活動されている団体様から、新たに協働の学校のために変身してあつたという方もおられます。ご協力に感謝いたします。

夏休み親子奉仕活動へのご協力をお願いします！

今年度も下記のとおり、各小中学校で校区の緑地、樹木の剪定等の環境整備活動(夏休み親子奉仕活動)が実施されます。

成妙小学校 8月18日(日)午前8:00～
雨天の場合は延期はせず校区内の清掃を行います。

三間小学校 8月18日(日)午前8:00～
雨天の場合は8月24日(土)18:00～に延期します。

二名小学校 8月18日(日)午前8:00～
雨天の場合は8月25日(日)8:00～に延期します。

三間中学校 8月25日(日)午前8:00～
雨天の場合は延期はせず校区内の清掃を行います。

今年度から、毎月13日の15時～16時に環境整備活動を実施しております。偶数月は成妙小学校です。皆様のご参加をお待ちしております。

お問い合わせ先：宇和島市教育委員会 生涯学習課 TEL0895-49-7332
三間支所教育課 TEL0895-58-3311

親子奉仕活動における案内文

事業を実施して

【成果】

- 支援ボランティアが、学校現場に入ることにより、生徒・教職員と地域のつながりが強化された。
- 定期的な清掃活動により、快適な学校環境づくりに寄与した。

【課題】

- 幼稚園、学校の保護者の多くが卒園、卒業と同時にボランティア活動も終了されてしまうので、今後継続した活動を行っていくために、有効な対策をとっていく必要がある。

好藤小学校地域学校協働本部【鬼北町】

～地域の教育力を子どもの学びに生かそう～

◆活動の目的・理念

- 学校・家庭・地域の連携を重視し、地域を知り、地域を愛し、地域を誇れる子どもの育成に努める。
- 好藤地区の豊かな自然や歴史・文化を学校教育に適切に取り入れる。
- 地域の教育力の活用に努め、地域に根ざした教育活動を推進する。

地域コーディネーター	配置	属性	活動内容						
	1名	町職員 (元教員)	・学校行事・地域行事に対応した支援活動の計画 ・学校支援ボランティアへの連絡と調整 ・広報・啓発活動						
教育活動推進員のべ人数	人								
協力活動の内容	授業等の補助	学びによるまちづくり	地域課題解決	地域人材育成	郷土学習	部活動補助	学校周辺環境整備	その他	
のべ日数 296日	34日	日	7日	22日	7日	4日	8日	214日	
ボランティアのべ人数 1,648人	197人	人	121人	232人	21人	8人	112人	957人	
連携・協力団体・機関	好藤公民館、子ども見守り隊員、学校運営協議会委員、いきいきクラブ、県立北宇和高等学校、公共施設、南愛媛療育センター、高齢者福祉施設、大本神社、好藤保育所、YYC、地区商店、地域役員・有志等								

取組の概要

<主な取組内容>

● 子どもに寄り添う学習支援

- ・北宇和高等学校との連携学習
- ・いきいきクラブとの交流学习
- ・サツマイモ栽培、加工
- ・高齢者、福祉施設訪問、交流
- ・読み聞かせ、ハーモニカ演奏
- ・生活科、社会科見学、体験学習

● 心を豊かにする環境整備

- ・いきいきクラブによる植木剪定作業
- ・年間3回の親子奉仕作業
- ・地域有志による剪定作業

● 地域全体で取り組む見守り活動

- ・見守り隊の編成
- ・登下校時の見守り活動

● 学校行事等への参画

- ・入学記念植樹、大本神社安全祈願
- ・交通安全教室
- ・百人一首集会、クラブ
- ・避難訓練
- ・好藤地区合同大運動会
- ・人権参観日での出前授業、講演



(好藤子ども見守り隊対面式)



(読み聞かせ&ハーモニカ演奏会)



(人権参観日での出前授業)

児童の感想 (ロンドンパラリンピック選手による出前授業での3・4年生の感想)

- ・体が不自由だといういろいろ不便だと思っていたけれど、道具やおうちを工夫して過ごし易くされていたので、自分の考え次第でできることが増えると分かりました。
- ・お話を聞いて、車いすのスポーツが沢山あることやパラリンピックのことなどがよく分かりました。Iさんの何でもあきらめない姿勢を見習いたいです。

<特色ある取組>

● いきいきクラブ(地元老人会)との交流活動

校区のいきいきクラブの皆さんと、1・2年生を中心に年間4回の交流会を実施している。

- ① 校庭の植木の剪定作業、その後、全校児童とゲームでの交流。
- ② 1・2年生の生活科「昔からの遊び」での交流と全校児童との交流給食。
- ③ お正月明けの「どんど焼き」早朝から櫓を組んでいただき、児童が持参した書き初めやしめ飾りを燃やし、お餅を焼いて全校児童と共に食する。
- ④ 年度末に「ありがとう会」を開催し、1・2年生から手作りのプレゼントと共に感謝の気持ちを伝える。



(いきいきクラブの皆さんと楽しく交流)

事業を実施して

【成果】

- 出前授業や体験活動などの導入により、幅広く豊かな学習活動を推し進めることができた。
- 地域の方々の理解や協力のお陰で、児童が地域の一員として地域に根ざした学習に取り組むことができた。
- 「子ども見守り隊」の編成により、児童がより安全に登校できるようになった。

【課題】

- 子どもたちの郷土愛をより深めるために、地域教材や人材の発掘、確保にいつそう努めたい。
- 学校と地域が共に学び合い、自己有用感をもて、地域の活性化にもつながる学習や活動内容を工夫していきたい。
- 「子ども見守り隊」の編成を充実させ、児童の登下校の安全確保にいつそう努めたい。

えひめ未来塾



教室での学習の様子
(放課後まなび塾【新居浜市】)

①【四国中央市】新宮小中学校放課後わくわく教室	26
②【新居浜市】放課後まなび塾	27
③【西条市】石根地域未来塾	28
④【西予市】三瓶学び舎	29
⑤【宇和島市】うわじま土曜塾	30

新宮小中学校放課後わくわく教室【四国中央市】

～山間部における子どもの学習支援～

◆活動の目的・理念

- 児童の学習習慣の定着と学力向上
- 児童一人一人の習熟度に応じた丁寧な学習指導の実施
- 多様な学習機会の提供による心豊かな健全育成

活動場所	新宮小中学校	対象児童・生徒	小学1年生～6年生	対象学校区名	新宮小中学校
開催日数・曜日・時間等	平日(授業日)	145 日	毎週月～金曜日	15 : 00 ~ 18 : 00	
児童・生徒の平均参加人数	28 人/日	学習支援員	2 人/日	教員OB、地域住民ボランティア	
協働活動サポーターのべ人数	30 人	ALT(外国語指導助手)	ボランティアのべ人数	20 人	
活動内容	宿題や復習の学習支援、学習習慣の育成、英会話や体力づくり・ものづくりなど学習機会の提供		参加者募集	小学校を通じて案内文書を配布し、希望者を登録	

取組の概要

<主な取組内容>

● 宿題にじっくり取り組もう

・学校から提出された宿題を中心に学習に取り組んでいる。宿題で分からないところがあれば、教員OBの学習支援員が、児童一人一人に習熟度に応じた学習指導を丁寧に行っている。また、わくわく教室で準備したプリントなどにも取り組むことができ、学習支援員と相談しながら苦手なところを重点的に教えてもらうなど、個性や能力に応じた指導が可能となっている。

● 英会話や体力づくりなど、多様な学習機会を提供

・学校の指導方針で小学1年生から英語に親しむ活動が行われていることから、ALTと連携し、高学年・中学年・低学年に分かれた英会話教室を週1回開催している。また、講師の特技(専門性)を活かしたスポーツ教室も週2回開催して、陸上競技や球技など楽しく体を動かしながら体力と運動技術の向上を図っている。

● 学校や家庭との連携

・毎月1回、学校と学習支援員と一緒に定例会を開催し、児童一人一人の学習の進捗度や特性を確認し、より良い学習指導・支援方法を毎回検討し、実施している。家庭には、毎月、児童の参加予定日を聞き、家庭での学習機会を設けるようにしている。



(体力づくりの様子)

児童の感想(学習意欲の向上)

- ・分からない事があれば先生が教えてくれるし、プリントもあるのでとても勉強できています。
- ・英会話教室では、楽しいゲームを考えてくれるので、英語が一番楽しいです。

<特色ある取組>

● 学校と連携した教員OBによるきめ細やかな学習指導

教員OBが学習支援員となり、学校との連携を密に行うことで、児童一人一人に合ったきめ細やかな学習指導を実施することが可能となっている。例えば、学校と学習支援員が話し合い、課題を確認しながら学習の積み重ね・習慣化による成就感を高めようと宿題の量を調整することもある。また、学習のみに限らず、さまざまな場面における児童の特性を十分に共有し、長所を伸ばせるよう、自己有用感につながる役割を与えるよう指導をしている。



(学習指導の様子)

事業を実施して

【成果】

- 児童の学習に対する意欲向上が見られるようになり、学習の定着が図られるようになった。
- スポーツ指導では、異学年同士の交流もあり、縦のつながりを通じたコミュニケーション力や思いやりの心が育まれている。

【課題】

- 保護者などに家庭学習の重要性を理解してもらい家庭においても学習の習慣化を図りたい。
- 市の中心部から離れた山間部の学校で実施されているため、学習支援員の確保が難しい。

放課後まなび塾【新居浜市】

～学習習慣の定着と学力向上を目指して～

◆活動の目的・理念

- 社会の変化の中で放課後への多様なニーズに応える。
- 経済的な理由や家庭の事情により、家庭での学習が困難である、学習習慣が十分に身に付いていないといった児童への地域と学校の連携・協働による学習支援を実施する。

活動場所	小学校・公民館	対象児童・生徒	小学4年生～6年生	対象学校区名	宮西小学校 他14校
開催日数・曜日・時間等	平日(授業日)	各160	日	月・火・木・金	16 : 00 ~ 18 : 00
				水	15 : 00 ~ 18 : 00
児童・生徒の平均参加人数	1か所30	人/日	学習支援員	1か所4	人/日 教員OB、教員免許所持者ほか
協働活動サポーターのべ人数	人		ボランティアのべ人数	人	
活動内容	宿題や予習・復習の学習支援、プリント教材等を使った個別学習			参加者募集	各小学校を通じて申込書を配布し、希望者を登録

取組の概要

<主な取組内容>

● 各校区ごとに実情に応じて実施

・学習習慣の定着を図るために、ほとんどの校区で月曜日から金曜日の授業日は、毎日、まなび塾を開催。児童は、放課後の時間帯、小学校や公民館で安心して学習活動に取り組んでいる。

● 希望すれば誰でも参加できる

・保護者の就労の有無等にかかわらず、小学4年生から6年生の児童は、希望すれば誰でも利用可。多くの児童が参加できるように、まなび塾の参加料は無料。

● 長期休業中の実施

・学校や地域との連携により、平日だけではなく夏休みなどの長期休業中も実施する校区もあり、さらなる学習支援の充実につなげたい。



(教室での学習の様子)

児童の感想

・まなび塾のおかげで勉強が好きになったり、勉強ができるようになったと思います。

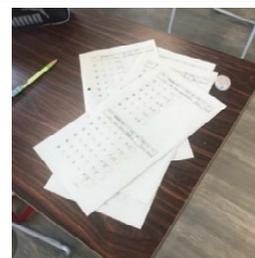
保護者の感想

・地域の方や祖父母世代の指導者の方々と触れ合うことも子どもが成長していく中で貴重な体験だと思います。

<特色ある取組>

● 四国一周チャレンジ 学習

宿題の支援だけではなく、児童の学び直しにつなげるため、学力強化シート等の問題を四国内の駅に割り当ててゴールを目指す「四国一周チャレンジ学習」に取り組んでいる。目標を明確に見える化することにより、これまで以上に熱心に学習に取り組む児童が増えている。



事業を実施して

【成果】

- まなび塾の利用により、児童の意欲の向上や学習習慣の定着が図られている。
- 学力向上面はすぐに結果が出るものではないが、少しずつ学力向上の成果が見えている。

【課題】

- 指導方法について研修を行うなど、学習支援員への支援が必要である。
- 校区ごとの利用率に開きがあることから、より多くの児童が利用できるよう運営の改善等を検討する。

石根地域未来塾【西条市】

～夏休み 集中学習支援～

◆活動の目的・理念

- 学習習慣の確立

活動場所	小学校	対象児童・生徒	小学1年生～小学6年生	対象学校区名	石根小学校
開催日数・曜日・時間等	平日(授業日)	日		:	～
	土・日・休業日等	3	日	9	: 30 ~ 11 : 30
児童・生徒の平均参加人数	67	人/日	学習支援員	11	人/日 教員OB
教育活動サポーターのべ人数	人		ボランティアのべ人数	1	人
活動内容	宿題や予習・復習の学習支援、学習習慣の育成、学習相談への対応			参加者募集	夏休み前、学校からチラシを配布し、希望者を登録

取組の概要

<主な取組内容>

- **夏休みの宿題支援**
 - ・夏休みの学習帳やプリント類、たくさんの宿題に勉強が苦手な子はお手上げ。そんな子どもたちの“困った”に、教員OBの先生方が寄り添って教えてくれる。
- **夏休み、3日間集中支援**
 - ・3日間という短い期間なので、友達と誘い合ってたくさんの子どもたちが集まってくる。
- **学校との連携**
 - ・学校隣の公民館で実施しているので、学校の先生方も気軽にのぞきに行けます。地域の方たちとの学習は、授業中とは違った子どもたちの様子がうかがえる。
 - ・異学年同士が一緒に学ぶことで、いい刺激にもなっている。

児童の感想

- ・いろんな先生が分からなかったり困ったりしたときに教えてくれてうれしかった。
- ・最初はどんなのかなと思っていたけど、地域の人や先生が優しく教えてくれたので、すらすらできました。また、来年も参加したいです。
- ・家でやるとなかなか進まない問題が、すらすら進んでよかったです。だらだらせず、進んで勉強を進めることができました。
- ・このように、地域の先生方と交流する機会が、もっと増えてほしいなと思いました。



(丁寧に教えてくれます)

<特色ある取組>

- **教員の負担軽減**

一昨年までは、「夏休み学習相談日」として、担任の先生方がそれぞれのクラスで夏休みに学習の支援をしていた。それを、教員OBの協力で、実施している。教員OBの先生方も、「子どもたちに元気をもらいました。」と喜んでくださっている。地域の方から勉強を教えらう子どもたちも、一緒に楽しみながら学習を進めることができている。
- **「子ども食堂」との連携**

今年度は、地域の婦人会の方のご好意で、「子ども食堂」を開催してくださった。学習した後は、みんなと楽しくおいしい昼食。おうちの方も大助かりだったようで、大好評だった。



(おなかいっぱい食べました)

事業を実施して

【成果】

- 児童は夏休みの学習をスムーズに終わることができた。
- 教員の負担軽減につながった。
- 児童に、地域の方から学ぶことのよさ、礼儀正しく接すること等、勉強以外にも得られるものがあった。

【課題】

- 3日間という限られた中なので、基礎学力の定着までは難しい。放課後や冬休みの実施も考えたい。
- 公民館で実施している「放課後子ども教室」との連携を図る方向も考えたい。

三瓶学び舎【西予市】

～地域ぐるみで子どもの学びを支えよう～

◆活動の目的・理念

- 一人一人が目標を持ち、意欲的に学力向上をめざそうとする取組を支援する環境を提供する。
- 地域の方々の協力を得ながら、学力の定着をめざす。
- 子どもの学びを支援する。

活動場所	三瓶文化会館	対象児童・生徒	小学4年生～6年生	対象学校区名	三瓶小学校
開催日数・曜日・時間等	土曜日	40 日	毎週土曜日	9 : 00 ~ 11 : 30	
児童・生徒の平均参加人数	17 人/日	学習支援員	4 人/日	教員OB、学校生活支援員	
協働活動サポーターのべ人数	150 人	教員OB等、地域の方	ボランティアのべ人数	人	
活動内容	宿題や予習・復習の学習支援、学習習慣の育成、学習相談への対応		参加者募集	小学校を通じてチラシを配布し、希望者を登録(随時受付)	

取組の概要

<主な取組内容>

- 宿題にじっくり取り組もう
 - ・落ち着いて学習できる環境で、集中して学習する。
- 目標をもって学習しよう
 - ・自分で学習時間を決めて学習をする。
- 苦手を克服しよう
 - ・指導者と一緒に学ぶことで、学習のつまずきに気付き、分かる楽しさを味わう。(活動の様子)
 - ・宿題の分からない所を指導者とともに考え、できた喜びや達成感を味わう。
- 家庭学習の進め方を学ぼう
 - ・学習のめあてをもって取り組むことにより、家庭でのよい学習習慣の育成につなげる。



児童の感想

- ・勉強がはかどるし、アドバイスをもらえるので、すごく分かりやすい。
- ・分かるまで教えてもらうので、学校の授業が楽しくなった。
- ・宿題を分かりやすく教えてもらいながらできるのがいい。
- ・算数が分かるようになった。
- ・国語が苦手だけど楽しくなった。

保護者の感想

- ・学ぶことやできるようになることの楽しさを体感し、意欲的に家庭学習にも取り組めるようになってきています。
- ・前日に学習の準備をしたり、計画を立てたりして、よい習慣が身についてきたと思います。
- ・苦手意識が減っているようなので、このまま通わせたい。
- ・休日でも学習する習慣が身につき、助かっています。

<特色ある取組>

● 地域の先生に教えてもらおう！

指導者の先生は、教職を退かれた方や学校生活支援員を経験されている方で、指導の仕方がとても上手である。個に応じたきめ細かな指導で、一人一人の学びをサポートしている。

指導者の声

- ・学習への励みや自信に繋がってくれるといいなと思います。
- ・週1回、かわいい子どもたちに会い、共に過ごす時間は、燃えます。
- ・学習のつまずきを解決して喜ぶ様子が好ましい。
- ・保護者から感謝の言葉を聞くこともあり、地域とのつながりも感じる。



(個に応じた学習支援)

事業を実施して

【成果】

- 地域の指導者とのよいつながりができ、学ぶ楽しさや、できた喜びを感じているようである。
- 2年目になり、本事業について学校や家庭に周知でき、利用児童が増えた。継続して利用する児童が増え、集中して学習に取り組んでいる。

【課題】

- 利用人数に応じた指導者数の確保
- 利用人数に適した会場の確保
- 学校・家庭・指導者・施設・事務局のスムーズな連携
- 予定変更等の確実な連絡手段の構築

うわじま土曜塾【宇和島市】

～ 将来に希望を持つ児童生徒を育てよう～

◆活動の目的・理念

- 勉強の遅れがちな小中学生に対し、まずは自ら学習する習慣を身に付けてもらう。
- 基礎学力を身に付けることに重点を置いた、分かるための学習指導を行う。
- 情操の涵養を図り、勉強する意味を学び、将来の夢や目標を持てるような体験学習を実施する。

活動場所	市内5会場 (図書館・公民館)	対象児童・生徒	小学4年生～6年生 中学1年生～3年生	対象学校区名	市内全小中学校 (小学校28校、中学校6校)
開催日数・ 曜日・時間等	平日(授業日)	日	毎週土曜日(小学生)	9 : 00 ~ 12 : 00	
	土・日・休業日等	40日	毎週土曜日(中学生)	13 : 00 ~ 16 : 00	
児童・生徒の 平均参加人数	1か所 25 人/日	学習支援員	1か所4 人/日	教員OB、塾講師	
協働活動サポ- ーターのべ人数	人		ボランティア のべ人数	人	
活動内容	・「学校の教科書」+「スタッフが選定した教材」を 活用しての学習支援 ・各種体験活動		参加者募集	各学校を通じてチラシを配布し、希望者を 登録(申込み多数の場合は書類選考有)	

取組の概要

<主な取組内容>

- **まずは学習する習慣を身に付けよう**
 - ・土曜塾への参加者は、家庭での学習が困難であったり、学習習慣が十分に身に付いていない等の理由により勉強が遅れがちな児童生徒である。自ら学習する習慣を身に付けるための第一歩目として、机に向かう習慣を身に付けることが学力向上につながると考え、指導を行っている。
 - ・学校授業の復習や、分からないことに対応することで、「昨日分からなかったことが、今日から分かるようになる」という勉強の楽しさや喜びを伝え、学習習慣の確立を図る。
- **スタッフが選定した教材を活用しての学習支援**
 - ・学校の教科書を使うことはもちろん、学習の進度も様々な参加者に適した教材を活用している。
- **定期的なスタッフ研修**
 - ・定期的に研修会を開催し、児童生徒への接し方や指導方法や教室相互の情報交換など、スタッフ間の意識統一に努めている。



(スタッフの熱心な指導)

<特色ある取組>

●体験活動の充実

学習活動のみならず将来の目標を持つきっかけづくりのため、様々な体験学習を実施している。各企業における出前講座を土曜塾に活用し、様々な職業についての勉強や各企業の取組について学習を行い、勉強する意味を学んだ。

- ・実施内容
「南極クラス(ミサワホーム(株)様)」、「マイナス196℃の世界(四国ガス(株)様)」、「エアロビ体験(フィットネスクラブRyuow様)」など



(南極クラスの様子)

体験学習に参加した児童・生徒の感想

- ・南極越冬隊に参加するために勉強をがんばろうと思った。(南極クラス)
- ・テレビで見たことがあったバラを凍らせてバラバラにする体験ができたのでよかった。(マイナス196℃の世界)
- ・最初は難しかったが、最後にはできるようになってうれしかった。(エアロビ体験)

事業を実施して

【成果】

- スタッフ研修を通じて各教室(5教室)において、参加者の特性に応じた支援が可能となっている。
- 体験学習を通じ、将来の夢や目標の構築がなされ、勉強する意味を学ぶことができた。

【課題】

- 地域人材であるスタッフの拡充・育成に努めたい。
- 限られた時間の中で勉強と体験学習のさらなる充実をどう行っていくのか検討する必要がある。